FRUiTS
12
1997
フルーツ
STREET 12月号増刊号
No.5
500yen
原宿フリースタイル
interview
ビューティー・ビースト

原宿
Free Style
セーター：3年前竹下通りで
パンツ：タイガー
ファッションのポイント：クソパンク
美容室：地元
今ハマッている事：テープ作り
好きな音楽：初期パンク
土井 八郎（19才）
カーディガン：
ブラウス：中学のときのやつ。
スカート：妹のもらった。
美容室：Artis Saron
今ハマッている事：服作り
わかめ（17才）、高校生
BELLY BUTTON
TOKYO BOPPER
0334975528

シャツ：ガネッシュ
パンツ：ガネッシュ
バッグ：宇宙百貨
ベルト：下北沢で
ファッションのポイント：インドっぽい人
美容室：MINX青山
今ハマッている事：部屋を変えること
好きな音楽：ハウス
田中さん（20才）、美容師

ブラウス：古着
スカート：古着
シューズ：コージクガ
ファッションのポイント：普段着
美容室：ACQUA
今ハマッている事：パーパス
好きな音楽：レゲエ
20才、インターン

ファッションのポイント：水玉
美容室：ACQUA
今ハマッている事：パーパス
好きな音楽：なんでもO.K
19才、美容師

Tシャツ：ヴィヴィアン ウェストウッド
スカート：自作
シューズ：バーコード
ファッションのポイント：スカート
美容室：自分
今ハマッている事：服作り
好きな音楽：チャラ
16才、高校生

シャツ：チャイルド ウーマン
スカート：自作
美容室：自分で
今ハマッている事：髪を切る
好きな音楽：ハードコア
16才

シャツ：自作
スカート：自作
バッグ：VANTANバッグ（笑）
ファッションのポイント：アヤナミ
美容室：VOLUME（か）
今ハマッている事：ギンバエ（笑）
好きな音楽：DROOP
エミ（18才）、専門学校生

シューズ：Dr.マーチン
今ハマッている事：野球
コスゲ

シャツ：軍用の服
ファッションのポイント：めちゃくちゃ
美容室：自分
今ハマッている事：ゆめをみる
好きな音楽：パンク
ひの（23才）、フリーター

ジャケット：代官山で
シューズ：リーバイスのスリッパ
メガネ：古着
帽子：古着
美容室：MINX青山
好きな音楽：テクノ、コア
ダイスケ（20才）、美容師

シャツ：パラドックス
パンツ：パラドックス
アクセサリー：おともだち作
ファッションのポイント：だらだら
美容室：じぶん
今ハマッている事：服作り
好きな音楽：ハードコア
（18才）、専門学校生

セーター：ミルク
スカート：ヴィヴィアン ウェストウッド、ツモリ チサト
ファッションのポイント：ロリータ
美容室：イマジン
好きな音楽：イエモン、あがた 森魚
鈴木 美恵子（18才）、フリーター

シャツ：古着（シカゴで）
スカート：古着(シカゴで）
バッグ：ヴィヴィアン ウェストウッド
ファッションのポイント：フルギで
美容室：CLIP
今ハマッている事：買い物
好きな音楽：あがた森魚
後藤 尚子

シャツ：ミルク
スカート：渋谷の○Iで
シューズ：コージ クガ
バック：マサキ マツシマ
ファッションのポイント：ロリータじゃないのにロリ
美容室：カツラ
今ハマッている事：BAND
好きな音楽：BLESS！
19才、フリーター

セーター：忘れました。
スカート：イネド
シューズ：コージ クガ
バッグ：ミルク
ファッションのポイント：カウボーイちっくに
美容室：PEEK-A-BOO
今ハマッている事：原宿にくること
好きな音楽：何でも聴きます、洋楽
19才、美容の専門学校生

シャツ：制服（高校の時の）
パンツ：制服（高校の時の）
シューズ：エア ジョーダン1
ファッションのポイント：なんちゃって
美容室：うちの近く
今ハマッている事：ぼけぼけほのぼの
好きな音楽：スカコアたまらん
しんちゃん（19才）、専門学校生

シャツ：高校の時の制服
スカート：高校の時の制服
ファッションのポイント：なんちゃって
美容室：SHIMAのカットモデル
今ハマッている事：ギャルソン大好き
好きな音楽：コア、パンク
まいちゃん（19才）、専門学校生

セーター：ミルクボーイ
シャツ：クラッチ
ファッションのポイント：あったかく
美容室：ACQUA
今ハマッている事：ポラロイド、メイク
好きな音楽：テクノ
たえこ（19才）、フリーター
--- p33に自己紹介

シャツ：セディッショナリーズ
ファッションのポイント：キレイめパンク
好きな音楽：パンク
サイトウ（19才）、専門学校生

パンツ：リーバイスSタイプ
帽子：ボウルハット
今ハマッている事：レコード集め
好きな音楽：パンク
まる（18才）、専門学校生

Tシャツ：CHAOSを改造
パンツ：？
シューズ：ヴィヴィアン ウェストウッド
美容室：友達
今ハマッている事：風呂上がりにトマトジュース
好きな音楽：なんでも
サイム（19才）、学生

ケープ：T.KUNITOMO
スカート：20年位前のハナエ・モリ
シューズ：trippen
ファッションのポイント：自分らしく
美容室：SIDE-BURN
今ハマッている事：まつりぬい
好きな音楽：ムッシュかまやつ
マヤ タメイ（18才）、専門学校生

パンツ：安物（パルコで）
シューズ：安物
バッグ：自分で作った
ファッションのポイント：スカート（T.KUNITOMO）を肩につけたとこ。
美容室：SIDE-BURN
今ハマッている事：自分でバックとか作ること。
好きな音楽：フラフラスキッピーズ
ミツハシ ヤスヒコ（18才）、販売員

レースの上着：おばあちゃんの
シャツ：学校の
スカート：自作
帽子：自作
美容室：自分
15才、中学生

上着：ワカメ（姉）から買った
下に着てるTシャツ：ワールド ワイド ラブ
パンツ：ワカメの手作り
バッグ：ラフォーレの地下で
美容室：ALQUA
好きな音楽：テクノとロック
15才、中学生

上着：ヴィヴィアン ウェストウッド
パンツ：？
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：カメラ、メイク
好きな音楽：何でも
[illegible]

美容室：boy
今ハマッている事：ヴィヴィアン
好きな音楽：カヒミ カリ
18才、専門学校生（バンタンF企画）

シャツ　自作
スカート　自作
シューズ　PREGO
リング　自作
美容室　SHIMA原宿の松本さん
今ハマっている事　服作り、好きなひと
好きな音楽　テクノ、パンク
イヌちゃん（18才）、高校生

lost
ジャンパー
シャツ
パンツ
バッグ
シューズ
美容室
好きな音楽
MARi、
Tシャツ
パンツ
シューズ
美容室
今ハマっている事
好きな音楽
専門学校生

牧野 妙子 19才

寒がりの たえこにとっては とても イヤな季節がやってくる。でも外で遊ぶのは 大スキ。家の中にいたら もったいないもん。休みの日でも 家にいることは ほとんどない。寒いのは きらいだけど 雪の上を歩くのは たのしい。

最近のお気に入り➡ドラえもんとポラロイド。ドラえもんは キディランドや100円ショップで よく買ってる。この間は ぬりえ買っちゃった。もう4ページも ぬったよ。ドラえもんは ダイスキ。ドラえもんの どら焼きも 食べてみて！コンビニとかで 130円で売ってるよ。ポラは よく とってる。写真は とるのも とられるのも スキだけど 後で見る時が たのしい。友達と とることが 多いけど ぬいぐるみや オモチャも とるよ。よく原宿で 知らない人に いつの間に とったの？みたいな写真を もらう。そうゆう時は すごく うれしい。ポラは とって すぐ見れるから スキ。秘密の写真まで とれてしまう すぐれものである。

お友達➡みんな個性あって かっこいいし かわいい。年もバラバラで 学生も いるし 働いてる人もいる。でも ちゃんと 自分のやりたいコトがあって がんばってる。たえこも がんばらなきゃダメ。メイクもスキ。写真もスキ。パンクもスキ。オモチャもスキ。やりたいこと全部できたら いいのにね。原宿は 友達いっぱいいて すごく たのしい。最近うれしかったことは 紅チャンの人生の計画を聞けたこと。計画は 完璧である。あと 9/22 新宿ROCK WEST。みつるとか せいチャンとか みんな かっこよくて ファッションショーも たのしかった。近頃 平和が 続いてる。

家➡今は 世田谷に 1人暮らしをしてる。最近 部屋の模様がえをした。壁には 一面バットマンがいて かわいい。テレビは ピンクに ぬって 冷蔵庫は 青く ぬった。ハンズで ブラックライトを買って 大変身した。狭い家なのに ソファーなんていうものを 購入してしまった。でも ヒョウ柄で 座りごこち よくて 気に入ってる。パンダと一緒に ソファーで ねっころがって テレビみるのが スキ。夜は ゴロゴロ まったりが 落ちつく。

ながえ・ポチオ・ポチコ・Wたえこ・せいチャン・えみチャン（遊歩道で。）

お気に入りのものたち。青木サンに もらった カマの貯金箱も 仲間入り。

夏ごろ。2030のエクステンションが いっぱい♥

かみのも➡1週間前に 切ったばかりの この頭は 今までで 1番みじかい。ACQUAの三浦クンに 切ってもらった。お店終ってるのに 夜中まで 本当アリガトウ。その後のALLは さすがに つらそうだったけどね。この間までは エクステンションだらけの頭してた。ビーズとか いっぱいで カラフルだった。9ケ月ぶりの エクステンションのない状態は ちょっと フシギな感じ。今のところ 伸ばす気は ない。これから どんな髪型にしようかと 検討中。カラーもしたい。でも 健康な髪には あこがれる。

FRUiTS➡これで 5冊目ですね。青木サン ごくろうサマです。みんな すごく いい個性もってて 見てて たのしい。友達 いっぱい 載ってて うれしいし これから どうなるのか たのしみ。洋服は スキだから 手作りのものを 着てる人を見ると スゴイと思う。たえこも 何か作れたら いいのにな。パンツの すそあげくらいなら できるんだけどね。

デビル・タカピー・あやこ・紅チャン・たえこ・沙田（けっこう最近の写真。ラフォーレ前だよ。）

ヨーグルトとアイス➡大スキな食べもの。朝は 毎日 ヨーグルトを 食べてる。夏は よくアイス 食べてたけど 最近 ちょっと 寒いから あんまり 食べてないな。100円で クッキーにアイスが はさんであるやつ。ダイスキ♥ あまいもの好きなの。クレープや パフェも ダーイスキ！

プリクラ➡プリクラ専用の手帳まで 作った。友達と とったり 友達から もらったりして かなり ためこんでる。写りが よかった時は ちょっと うれしかったりする。写真好きな たえこにとっては プリクラも 写真と同じくらい スキ。

パパとお母さん➡よく電話で 話す。2人とも 大スキ。いつも いろいろ心配してくれる。10月中に 会える予定。久しぶりだから ドキドキだけど たのしみ。みんなで ごはん食べたい。お母さんが作る からあげが ダイスキなの♥

たえこの宝物。パパと動物園で とった写真。

amp（アンプ） MTV

テクノ好きの人にうれしい番組がある。MTV（CS放送）の番組ampがそれ。今年の４月にスタートした。毎週１時間半の番組で、テクノ系音楽だけにスポットを当てている。前半30分は日本制作で、ゲストトークやイベント取材などで、後半１時間はアメリカ制作の番組をそのまま流していて、テクノのビデオクリップをインターバルなしで流しっぱなし。テクノは映像と一緒に楽しむのがベスト。普段はクラブやイベントでしか接する機会がない音楽だけど、そういう雰囲気が好きじゃない人にも良い話でしょ。映像と音楽で、かなり芸術を追及した曲もあるから、クラシックしか聞かないっていう人にもオススメします。11月の日本制作パートではKEN ISHII特集（7日〜）、NINJA TUNEのイベント特集（21日〜）をやる予定。

（amp放送時間）
金曜　23:30〜24:55（初回放送日）
土曜　25:30〜26:55（26時からはノンスクランブル放送）
月曜　11:30〜12:55

（MTV視聴料金）
月650円だけど、セット料金もあるから他の番組と合わせると割安になるよ。毎日am2:00〜am7:00まではノンスクランブル放送なので無料で視聴もできる。

（MTV受信の方法は２通り）
・ケーブルテレビがある地域ならケーブルテルビで視聴できる。
・パーフェクTVかディレクTV（年末にはスタート予定）で受信する。
　CS用のアンテナとチューナーを購入（３万円程度から）してセット、申込書を送って登録。
（問）MTVジャパン　03-3711-7500

DISCIPLINE

ディシプリン
渋谷区神宮前 5-12-14　03-3486-5289

ファッション評論家の平川氏のお店。パリの古着を中心に、若いファッションクリエーターの持ち込みの服も多数置いている。興味のある人は服を見せに行ってみたら。でも選択基準はキビシイよ。いつもファッションは自由な心で自由に楽しんで下さい、とのメッセージ。

トウキョウ ボッパー
渋谷区神宮前 4-25-7　03-3497-5528

おなじみの靴ブランドBELLY BUTTONの直営店。広い店内にはBELLY BUTTONの靴がいっぱい。

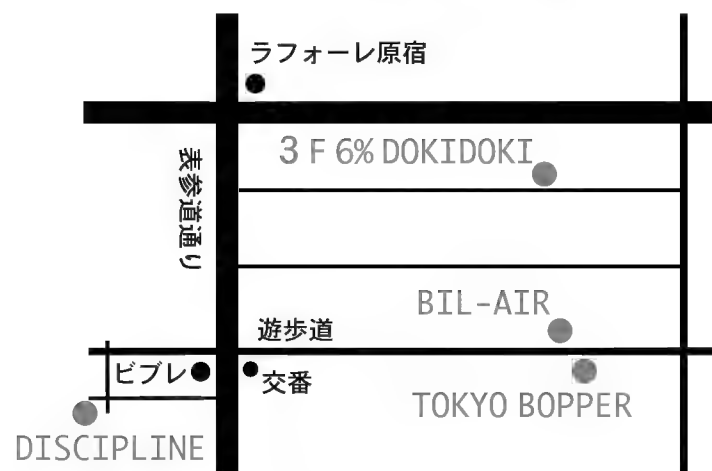
TOKYO BOPPER

6% DOKIDOKI

6% ドキドキ
渋谷区神宮前 4-32-4 サンエムビル3F　03-3479-6116

センセーショナルラブリーショップ。店内はメキシコ、アジア、アメリカに探しに行って買い付けてくるセンセーショナルでラブリーな小物でいっぱい。他では決して手に入らないものも多くある。
ラブリーコミュニケーションの時代を作りましょう、流行じゃなく自分の好きな物を組み合わせて、とのメッセージです。

ビニール人形　¥780

コン虫入キャンディ¥380

ジャケット（No Dead Artist）¥49,000

BIL-AIR

パンツ（Sah）　¥22,000

ジャケット（Kei Kagami）¥76,000

ビル-エアー
渋谷区神宮前 4-26-28　03-3478-5890

最近ここに移転して、ゆったりした店内にはカウンターバーに庭もある。ユニセックスショップ。オリジナルブランドの"NO DEAD ARTIST"の他に多くのブランド、インディーズを揃えている。ロンドンで活動中のKEI KAGAMIの服に注目。

GRIFFIN　PPCM　SHELTER LEE　Sah
G&IP　BURRO　ADAM　RUGBY
NORMAN TULLOCH　THE ART III
TRIPPEN　BUTTERO　GEORGE COX
CANPER　KEI KAGAMI

mini FRUiTS

だいぶ涼しくなってきました。
これからがおしゃれにも気合いが入る季節ですね。
編集部も楽しみです。
「ここへ来て！」の情報もだいぶ集まりました。それらの情報は取材後紹介したいと思います。
どこへ行こう？まだ未定。

やってほしい企画は、メイクのことです。メイクの仕方など。私はブサイクなんだけどもメイクしたいのでそうゆう人でもかわいく、とはいかんけどおしゃれなメイクを教えてほしいです。メイク全然分からんので。
（名古屋市　うっちー　17才）
F:メイク、おもしろそう。企画検討します。

（大阪　KIRARA）

F：えーと、ない。原宿のカッコをしてる人も原宿を出たら、みんなにじろじろ見られます。私はロックがけのスカートをはいていたら、青山でミセスにスカートうらおもてですよ。と指摘してもらいました。だからどこでも一緒。見られてうれしいっ！と思うようになる以外にないですね。

こんにちは。私は販売員をしている20才の女の子です。
洋服がすごく好きで、好きなことを仕事にしたいと思って高校卒業後すぐに販売員になったのですが、今すごく悩んでいます。初めの方は好きな服にかこまれて、働いている時間がすごく幸せって思っていたのに、結局販売員って「服を売る仕事」で、売上を気にしなければいけなくて、１日の売上予算も決まっていて、そういうのがうっとーしくて、純粋に服を楽しむことができなくなってしまいそうで嫌です。もっと好きなように、思うように服にたずさわっていきたいのに。ボディに着せたり、ディスプレイする服も「売れそうな物」って考えなきゃいけない私の店は、つらいです。OFFの日に彼氏や友達と洋服の買い物する時は本当に楽しくて幸せ。長い間（といっても２年目ですが）仕事としてやっていると、洋服を商品としてしか見れなくなってくるようで、このままでいいのかなって思います。
（三重県　20才）

F：仕事って大体そういうもんですよね。本当にやりたいことが見つかれば、いやなこともがまんできるようになると思います。
だけど、その本当にやりたいことを見つけることが、大変なんですけど。

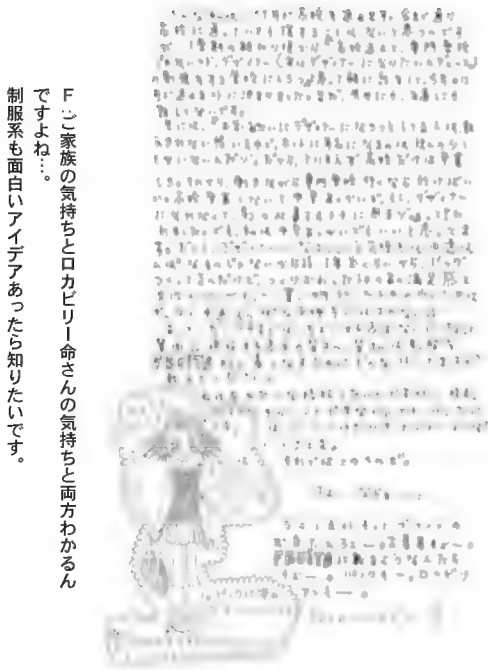
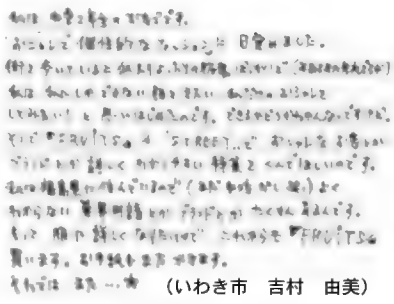
（堺市　ウサコ　18才）
F：福原さんカッコイイ。お手伝いスタッフ、気持ちはとってもうれしい。でも何をしてもらおう？

ところで、悩んでる人多いですね。前号の「自分のスタイルが見つからない」という悩みについて。
僕も以前、そういうふうに悩んでました。ちょっと前まで。というのは、今はけっこう「焦ってもしょうがないな」って思えるようになったんです。何年か、あるいは何十年か後に「僕にもああいう時期が…」って思って笑えればいいかな、とか思ってます。何が言いたいのかっていうと、僕みたくテキトーな奴もいれば、いっぱい悩んでる人もいて、人それぞれってことです。僕の手紙を読んで「私はこの人とは違う」とか「こんなのただの逃避じゃないか」って思う人がいてもいいんです。実際僕もそう思うことがよくあります。何が良いか悪いかということは、自分の中で処理すればいいと思います。それで処理しきれなければ他の人に相談してもいいと思います。ただ自分だけで何でも解決できる人ってそうはいないと思いますけどね。「自分が本当に好きなもの見つけられてうらやましい」ということが書かれていましたが、その人たちも本当にそうなのかもしれないけど、友達とかのマネしてるだけかもしれないですよ。こんなこと書いてもイクミさんの悩みは解決しないと思いますが、だからといってプレッシャーを感じる必要はないと思います。それでみなさん悩んでるのでしょうから。「もっとスナオに生きよう」なんて今更言うつもりではありません。
ただ、世の中には僕みたいな人もいるのですよということを、参考になればいいかなと思って書いただけです。
（神奈川県　フーミン　18才）

（名古屋市　うっちー　17才）

こんにちは

（新潟県　わくい　かおり　16才）

FRUiTSとてもよいです。毎号買ってマス。
私は今、メイクの専門にかよってるんだけど一人暮しでバイトもしてなくてかなりの貧困生活を送っています。FRUiTSみてるとみんな高い服着てでうらやましくなるけど、お金かけなくてもオシャレはできると思うの。
私は、いらなくなった服や安い服を改造（ミシンないから手縫いで）するのがスキ。成功するとやっぱりうれしい。でもそろそろミシンが欲しいよ。肩こるし、目がちばしる…。今度PUNKSとMODSの特集をやってほしい！！
（東京都　のん　19才）

F：ご家族の気持ちとロカビリー命さんの気持ちと両方わかるんですよね…。
制服系も面白いアイデアあったら知りたいです。

（いわき市　吉村　由美）

F：なるべくわかりやすくカタカナでブランド名を書く努力しています。問い合わせで多いのは、20471120=英語読みで、トゥオーフォーセブンワンワントゥオー、BELLY BUTTON=ベリーボタン。

こんにちは。私は、ほんの少し前まで、ある服をただ着ていただけなんですがFRUiTSを見てから、服の着方e.t.c…変わりました。進学の方も、ファッションの方へ進もうか迷っていたんですが、やっぱりファッションの方へすすもう！と思いました。！やっぱりFRUiTSの影響はすごいですね。
やってほしいページなんですが、「黒服特集」（？）やってほしいです。どんなのかというと、ビジュアルっぽい黒系の服等のあやしい感じの服とかの特集してほしいです。あと、ブランドの名前の読み仮名をふってほしいです。今だに20471120の読み方が分かりません…。
（兵庫県　向井　彩子　高2）

はじめまして。私は一応社会人でもあり高校生でもある18才の山口県人です。
FRUiTS見てると、何かすいこまれそう。一枚一枚の写真に何かうったえかけられる。
それってたぶん「個性」って言われてるものかなと思う。
どんなにイイブランドの服着て、メイクもO.K.でも「個性」がナイとその人の持ってるパワーが伝わってコナイ。それってたぶん服を着てるんじゃなく、服に着られてるんだと思う。
私はこんな大きな事？書いてるけど、私自身まだ²個性を出しきれていないでいる1人。どう自分を表現するかって事はスゴク難しいと思う。

FRUiTS創刊号から欠かさず見ています。
11月号の「静岡　タダのオバサン　49才」さんのお便り読んで、とってもうれしかった。私、29才だけど、10代の人達のファッション大好きで、FRUiTSみるのとてもたのしみにしてたから、私より年上の人が応援しているなんて、感激しました。ファッションに年令制限はないのに、「今の若い人は…」っていう言葉のせいで着たい服着れなかった事ありました。でも、自分は自分なんだから、自分らしさ大切にして行きます。
目標は、FRUiTSに載ること！！
是非、大阪に来て下さい。！
Come back to Osaka!
（奈良市　アダルトチーム）
F：私もアダルトチームに入れて下さい。大阪は大好きなので、また冬行きます（日程未定）。

（茨城県　ピピ）

ここまでは人生相談なんですけど、
私、イケてる友達いないんです。
っていうのはつまり学校なんでね。（女子校）
私自身イケてるわけじゃないんですけど、せめてイケてる友達を作って私もイケてる女の子になりたいんです。ところが今の友達は、性格はとってもよくておもしろいんですが、半分は男に興味なし、半分はタレントおっかけてる。そしてなぜかみんなキレイになる努力をしない。クラスのイケてるグループが、男子校の文化祭いったとか、ナンパされたなんて話してると（盗み聞き）私うらやましくてしょうがない。
でもそういう人とは性格あわないみたいだし。このままじゃ自分があかぬけするのかしないのかもわからない。私はいったい何をしたらいいのか、的確におしえてください。

ペンネーム★ がめこちゃん★高2

F：（笑）そうですね。ではまず写真を送ってください。
的確に教えてさしあげます。

第3回☆彡あきあきコーナーの、はじまりちゃんでーす。
あのぉ、前、前回（10月号）でかみのもきらないぞ宣言を
発表しましたが…。やはり、自分に負けました。
又、かりあげスタートですよ。このあいだは、チャオバンビーナの
おぐにサン（日美卒業生）にさそわれてきっちゃいました。
だから、もう伸ばすなんて言わないです。
私は、うそすきじゃないですから。

前略お元気ですか？ ㊙あきあき新聞㊙

近ごろの

→ハムスター㊖が赤ちゃんを5ひきも産みおとす。名前は、まだ。
→地元（有楽町線とよす）で暴走族がブンブンうるさい。
→9月24日で日美の先輩が卒業しちゃった。
→冬にむけて部屋の模様替え。

私の、大スキ♡オススメ 美容師さーん

♥GIRL LOVES BOY → みゆきサン・こうじサン
ガールは、とってもラブリーなお店。高校生・専門学生に大人気。
赤いソファーにキラキラっと光るシャンデリア、あんじちゃんの写真、
女の子の夢をかなえてくれるお店だよ。インターンのりょうは
私のおねえちゃんでーす。

♥ACQUA → つかだサン・けいちゃん
GIGURO・ゆうきさんのファッションショーの時、
ヘアメイクしてくれたのがお2人との出会い。
つかださんは野口五郎パーマ、けいちゃんは天然で
バク宙もできちゃう人。美男・美女代表者です。

♥VOLUME → うじたサン
お店に入ったとたんに異次元の空気を味わえます。
うじたサンは、一見、こわそうだけど話してみると、やさしくて、
エロエロおやじ。そして、ヘアデザインの天才。この2つの顔を
持つ、うじたサンと、おもちゃ箱をひっくり返したような、
このお店は、みりょく的だよ。

♥チャオバンビーナ → おぐにサン
まん中にDJブースがあって おしゃれで おもしろい美容師サン
のいるお店です。カットしてくれる、おぐにサンは、
日美の卒業生でやさしい人です。今度はメイクしてね。
※いつもバンダナしてる男性に、みなさん気をつけて!!

Thunder Ball 情報

11月未定は、えびすMILKで、
12月8日は、新宿JAMで、ドリファナ
とやるョ。1度見たらくせになっちゃう
サンダーボールのLIVEを見に来てネ♡
あと、企画・イベントさそって下さい。
くわしくは、私まで・・・・

友達募集

Ⓐ FRUiTS読者の皆様へ

Ⓑ はじめまして。私の名前はヒサピといいます。栃木の高校3年生です。おしゃれに興味ある方、友達になりましょう。男女年齢問いません。一緒に遊んだり、お話しをしたりしましょう。
私の今ハマっていることはFRUiTSを読むことです。好きなブランドはネ××、W<、ビューティービーストなどです。ケド、お金が無くて買えません。こんな私でもよかったら友達になってください。
（栃木県）

Ⓒ （新潟県）

Ⓓ （栃木県　wood stock）

Ⓔ FRUiTSすごく勉強になります。

Ⓕ

Ⓖ 宮城県

Ⓗ （茨城県）

Ⓘ

友達になりたい人は、編集部あてのハガキに「友達コーナー」係と明記して○さんと文通したいと希望を書いて送ってください。
↓
1ヶ月後編集部でまとめて、友達募集した人にお届けします。

読者ページを作りましたので、送っていただいたお手紙は掲載されるかもしれません。名前を載せられると困る人は匿名希望かペンネームを書いて下さい。できれば葉書にまとめて下さい。

こんなインタビューをして欲しいというご意見ご要望募集。

大阪に続き、福岡、仙台、名古屋、神戸あたりを狙っています。他の都市を含めて情報を募集します。こんなことが流行ってるとか、取材するならこの場所だとか、美味しいお店とか。情報下さい。

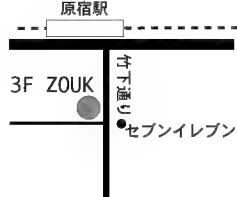
Ka'eL期間限定ショップ開店記念 プレゼント

Ka'eLが新宿アルタ4階に期間限定のお店"ALTA de Ka'eL"をオープンする。開店記念として『FRUiTSを持って買物をしたら』もれなく粗品をプレゼントしてくれるよ。
粗品プレゼント期間：'97.10.31～'97.11.30
お店のオープン期間：'97.10.31～'98.2.28
（問）Ka'eL 03-5474-3590

卓矢エンジェル　プレゼント　当選者発表！

	賞品		当選者	
1	金魚Tシャツ	M	京都府　古川　万莉　様	
	〃	L	静岡県　埜村　美希　様	
2	風呂敷		岡山県　恵谷　祐子　様	
			岩手県　山本　　恵　様	
			宮城県　幸谷　克広　様	
3	ステッカー		小松　裕美　様、	杉浦　加奈子　様
			藤本　絵里子様、	石川　さゆり　様
			古川　樹　様、	横田　さやか　様
			濱本　道子　様、	一柳　恵　様
			前田　好代　様、	平根　宏美　様

前号11月号（No.4）
東京ゴアショップガイドのページにおいてp.35のショップZOUKの店名、電話番号等が間違っていました。お店の方、問い合わせた方ごめんなさい。訂正させていただきます。

ZOUK　ズーク
tel：03-3479-7221
また写真に
パンツ¥9800
とありますが、
オールインワン
¥9800でした。

beauty:beast

more than one culture of origin

インタビュー　山下 隆生

TAKAO YAMASITA

FR　ファッションデザイナーになる最初のころのお話を伺えますか？

山下　もともとは大学の工学部で建築の勉強をやってたんですよ。親が土木建築関係で、僕が長男の一人息子で。おやじが九州長崎のうるさいおやじで、自分の後を継がせたかったみたいで。勉強をさせられて大学に行って。でも自己流で絵を描いたりはしてたんです。ジャコメッティの彫刻とか好きで、画集をゴッソリ買ったりしてたんです。でもアートに関することにはすごくうるさいオヤジで、アートイコール絵心、絵心イコール女の腐ったようなっていう表現になるオヤジなんですよ。男臭い働く男が好きなオヤジで。僕は表向きオヤジのイエスマンで、親の敷いたレールでずっとやってきてたんです。大学4年のころにつき合っていた人とか彼女とかは、美大や建築の勉強をしてる人達で、土曜になると新幹線で東京に出て歌舞伎町の映画館に泊まって、日曜日にその子達と遊んだりしてて。そのあとその週はモグリで武蔵美の講義受けてたりとかしていて。ファッション課があったので、ボンデージのパンツを履いた男の子達がいたり、ワールドエンドの服を着てる子がいたりして、そういう感じを学食の窓から見てたりして、自分の行ってる大学とずいぶん違うなって、人間がずいぶん違うなって思って見てたんですよ。

洋服に進んで行ったきっかけとしては、大学4年のときに、流行通信大賞・丸井オーディションっていうのがあって、丸井さんが流行通信誌上を借りてやった第一回のファッションコンテストがあったんです。自分なりに試したかったっていうか、チャレンジしたかったっていうか。遊びでデッサンを6枚くらい描いて送ったんです。それが予選に通って、今度は服を作ってきてくださいっていう通知がきたんですね。自分の中で親に対しての反感があったのが、予選を通ったっていうことで、絵に関して誰かが自分のことを認めてくれたって思ってですね、自分の中で一つの壁を乗り越えられたんです。服を作ることは知らなかったので、もうそこまででいいと思ったんですけど。回りの友達から、どうせだったら最後までやれよみたいに言われて。生地はテキスタイルメーカーから寄付されていて、交通費程度は出ていて。まず生地をいただいて、ジーパン屋に行ったんです。服作れませんかって聞いたんですよ。すそ上げとかやってるじゃないですか、だからデザイン画を持って行ってみたんですよ。そしたらやっぱり，何考えてるんだって、うちは仕立屋じゃないからって。（笑）そこで仕立屋さんに行っても、なんだこのデザイン画はみたいな感じで全然ダメだったんで、もう一回ジーパン屋に泣きついて行ったんですよ、いいお姉さんがいたんで。そしたらそのお姉さんが、型紙がいるんだよ洋服はって（笑）。型紙ですか、じゃあ型紙ってどうすれば作れるんですかって。パタンナーっていう人を見つけなければだめだって。その人と同じ学校でマンションメーカーに働いている人がいるからって紹介していただいて。その人もチャレンジ精神があって、型紙までならいいよ作りましょうって言ってくれて。その人がたまたまヤマモトヨージっていい名前の人で、いい服が作れそうな気がしたんですよ。すばらしい服になるんだろうなって思ってて。次は縫う人が必要だっていうことになったんですけど、近くのリフォーム屋さんのおばさんのところに、リフォームとかにはよく行ってたんですよ。お金がないので、布を持っていって安い服をDCのように変えてもらったりよくしてたんで、今度はそこに泣きついて。じゃあ型紙があるんだったら私たちが縫ってあげるわよって、ナイスミドルのおばさん達に言っていただいて。今でも一点ものとかサンプルとかを縫っていただいてて、もう7年近くお付き合いしています。

FR　それは、9年前くらいのことなんですね。

山下　そうですね。で、卒業制作とか全部おっぽり出して、生地を抱えて走り回っていたので、教授もお前なにやってるんだっていう感じだったんですけど。まあそういうことで洋服には一応なったんです。そのときの服は、肩パッドがすごく大きくドロップになっていて、肩を包むような形で、後ろは健康骨までパッドが回り込んでいて。袖が肘のすぐ上から付いていて。ラペル（下えり）とかも芯地とかも知らなかったんですよ。ダンボールが入ってるんですよ、みかん箱みたいなのが。これを入れて下さいってダンボール持って行って。リフォーム屋のおばさんは「い、いいんだね。」みたいな。グレー色の生地だったのであとでダンボって言われてるんですけど。そのダンボが審査の前日に出来上がって、新幹線に乗りに行ったら乗り遅れて。その夜は京都の映画館に泊まって。そのときやっていたのが「死霊のはらわた2」っていう映画で、3回くらい見ました。目玉がピューって飛ぶような映画で。次の朝、始発に乗って流行通信社に行って。他の人は専門学校の人とかなので、きれいな服なんですよ。ダンボールとかは入っていない。ボタンも大きなボタンを付けたかったので、たこ紐で縛りつけたりして。そんな感じの工作のような服で。まあ賞を取るなんて全然関係のないことだったし、でもそういうふうにいろんな人が関わって出来上がったものなので。ステージの上にいるときに、田山淳朗さんが「デザイン画は迫力あっても、出来上がりは服に納まってるのが多いけど。デザイン画以上に迫力あるね。」って。誉めていただいたのか、うまく言っていただいただけなのか分からないですけど。まあそういう言葉とかに調子に乗ってですね、発表のときになかなか呼ばれない自分に、ああダメだなっていうの

が半分と、最優秀は最後だから楽勝さっていう部分とあって。でもそういう楽天的なことは木っ端みじんに打ち砕かれて、もちろん取れなかったんです。その後ふてくされて、渋谷のロッカーに足を蹴り込んで、やめたやめたみたいな感じで。はかない夢だったって。そのときに一緒にいた友達が、何でだめだったのか聞きに行ったらっていう話になって。あれだけ誉めてもらったんだから、それがお世辞だったら諦めればいいしって。アフターパーティーをやってたんですけど、そんなの行くかみたい感じだったんですけど、全然違う世界の人達だったし。そういうことで結局行ったんですよ。そしたら田山さんが落ちた子たちを集めてたので、一緒に話を聞いて。今回は落ちてしまったかもしれないけど、ここまで来る間に、色んな発見をしているだろうし、服作りっていうのは辛いけど楽しいこともあるはずだから、途中で投げ出さないでくださいね、っていう話をされたんですよ。たしかに自分も色んな人を巻き込んでここまできて、結果出来上がった服は自分のエゴの固まりですけど、たくさんの人の息がかかったのには変わりなくって。そのときになんか熱いものっていうか、生きがいを感じたんですよ。これは親にやれとも言われてないし、辛い気持ちと楽しい気持ちが同居していて。人にどうのこうのって言われることもその時はなかったし。自分がやりたいからピュアにやったことだから。それでなんか急に目覚めたんですよ。服作ろうって。

で大阪に帰って、速攻親に電話して。「学校辞めます。」って言って。親は「ええ？就職は？」って。やりたいことが見つかったんでっていう話をして。で何やるんだって、服作りますって。なんでそんな女の腐ったような仕事を選ぶんだ、本気かって。本気ですって言って。そしたら、とりあえず一人でなんとかやれよって。仕送りも電気代も全部止められましたけどね。さよならガチャって。お袋が泣いて、仕送りも送れないようって泣きながら。オヤジが怒ってるからって。

FR　本当に怒っちゃったんですか？

山下　ええ、ブチって切れたみたいで。それから3年間は話をしてくれなかったですね。オレの子じゃないよ、お前はって。なんかそういう人なんですよ。それから速攻フリーマーケットやって。まず生地も買わなきゃいけないだろうしっていうことで。

FR　大学は大阪だったんですか？

山下　はい、大阪で。

FR　じゃ、大阪のフリーマーケットで。

山下　あ、その前に教授には義理立てして会いに行って。その教授がきつい教授で、ビンタする人なんですよ、大学生を。（笑）歯をくいしばれって言って。その教授に「やりたいことが見つかったんで、大学を辞めます。」って言って。そのときの教授がなんか人間っぽく見えて、それまではなんか恐い人だなっていう意識があって、遠い存在だったんですけど。で、どういうことをするんだって。服作ることなんですよって。こういうことがあって、服を作ってるときすごく楽しかったって。もっと研究したいっていうか、もっと突き詰めてやって行きたいって。そしたら教授が、ならいいじゃないって。自分のやりたいことを見つけたことが一番大事であって、こんな大学で、一番奥で少年マガジン読んでるようなやつらと一緒に生きてるのなんか息苦しいよって。オレもこんな大学辞めてやるよって言って。マジで辞めて。2人で辞めてしまいました。なんか熱い人だったんですね。やる気のないやつらに教える気もないし、生き甲斐もないよって。

その部分で認めてくれる人がいたので、オヤジに対することがなくなったんですよ。ポジティブに認めてくれた人のためにも頑張らなくちゃって。

それからすぐにフリーマーケットで服を売ろうっていう発想が出て。登録してすぐに参加して。当時参加費が2000円だったかな。自分のありったけの古着を持って行って。そのときにハギレで帽子を作ったんですよ。4枚剥ぎとか6枚剥ぎのハンチングとかを作って。見よう見まねで型紙作って。今考えると勿体ないんですけど、ケント紙で型紙つくったりして。その後だんだんと金がなくなって新聞紙になっていくんですけど。

そのときに9個帽子を作って。100円のハギレの束を買って。1個3800円とかで並べてたんですよ。でも帽子は自分で作ったので売れないだろうし、こずかい稼ぎになればいいやって、帽子から古着の服に流れてくればとかって変なこと考えたりして。そしたら当時「あしたの箱」っていう店があって、いまはロンディースっていう店になってるんですけど。そこのオーナーがたまたま通りがかって、帽子を全部買ってくれたんですよ。これ全部オレ買うって。

FR　すごい

山下　オオッて。すごく驚いて。100円のハギレが3800円で売れたんだから。もっと作ってよ、うちで売るからって言ってもらって。それで速攻調子に乗って訪ねて行って。そこから帽子だけだと単価が安いんで、もう少し単価の高くとれるジャケットとかに手を出し始めたんです。

FR　いきなりジャケットですか。

山下　ええ（笑）。で、ジャケット作りましたって持って行って。ロックミシンもなかったんですよ。だから裏もボロボロなんですけど。ＮＵＤＥっていうスタンプを作って、それを押して。少しずつなんですけど売れていって。

FR　ジャケットの作り方とかは、どうやって勉強したんですか？

山下　最初は見よう見真似で作って。床に置くと和服のようにペタってなるんですよ（笑）。それを最初はジャケットって呼んでたんですけど。袖とかは古着をほどいて、紙の上に置いてそのまま切って型紙にしたりとか。もちろん肩とかもぐちゃぐちゃですよね。古着は200円位で売ってるんですよ、東寺とか四天王寺の市で。オヤジのジャケットなんですけど。

FR　売れました？

山下　はい。なんか少しずつ。たとえば衿が重なってるジャケットとか、自分なりに工夫してやってたんですけど。そのなかで、どうして床に置くとペタってなるのかって、人間の体って立体的だから、その平たいジャケットがどうやったら古着のジャケットみたいに重量感がでるのかなって考えてて。リフォーム屋のおばちゃんの所に上がり込んで、立体的な服はどうやったらいいんですか？って。おばさんだから、タック入れたらいいじゃないとか、ダーツよとか、そういう話になったんですよ。で、ダーツってなんですか？って。でシャツのこれはヨークって言うのよとか、そういのをずっと教えていただきながら、勝手にミシンも使わせてもらって。あなたロックミシンくらい使いなさいよって怒られたり。表地と裏地を同時にロックしてどうするのよとか。でもこれを反対に見せたらデザインになるとか。そうやってリフォーム屋の人のアイデアをいっぱい勉強させてもらって。既製服っていうのは大まかなサイズになってて、建売りの家みたいなもので、それをいかにロフトみたいに見せるかとか、そういう発想でその人にオーダーメイドのようにしていくのが私たちの仕事だって。石黒さんっていう人なんですけど。

FR　ずいぶんポリシー持ってる方なんですね。

山下　そうですね。すごく洋服の好きな方でしたね。で、その石黒さんがずっと教えてくれてて。パンツのサイズを直すときに、脇だけつまんじゃ形が悪くなるから、後中心をとか。股下のカーブは特殊だから触っちゃいけないとか。半オーダーとリフォームの融合みたいな仕事をされてたんです。レザーは失敗するとミシンの穴のあとが付いちゃうから、慎重に縫わなきゃいけないとか。失敗ができるだけないようにする方法だとか。そういう細かいことを色々教えてもらいましたね。2年位はそんな感じでリフォーム屋さんに入りびたって、店は「あしたの箱」で。

FR　学校に行こうとかって全然思わなかったんですか？

山下　お金がない、それだけの理由で学校にはまず行けないって。弟子入りとかもよく言われるんですけど、回りにファッションデザイナーっていなかったんですよ。やっぱ大阪ですしね。リフォーム屋さんが一番勉強できましたね。そのうちに生地屋さんに仕立屋さんを紹介していただいたんですよ。ジャケット

とかのちゃんとしたテーラードを勉強したいって思ってて。その人が三橋さんっていうおじいちゃんの仕立屋さんだったんですけど。ちょっとジャケットも立体的になりはじめて、袖もダーツが入り始めたころで。シャケットをおじいちゃんに持って行って、こんな服を作りたいって。そしたら「こんな縫いでいいのか？」って言われたんですよ。プレスもこんなんじゃだめだって言い出して。これの一番良くなった状態にしてくださいって言ったんですよ。じゃあやってやろうっていう感じで、ジャケットを縫ってくれるようになって。今度は三橋さんに色んな質問をぶつけていって。テーラー屋さんの人はアイロンの使い方とか生地の絨味とかはすごくこだわってて。布自体にすごくこだわってましたね。この布じゃ良い形は作れないとかって。その布で衿のラペルはプレスでうまくカールさせるんだ、蔦が絡むように曲げていくんだとか。布のゆとりとかバイアスの使い方とか。ゆとりの持たせ方で肩の丸みを出していくんだとか。生地自体の話からされてましたね。

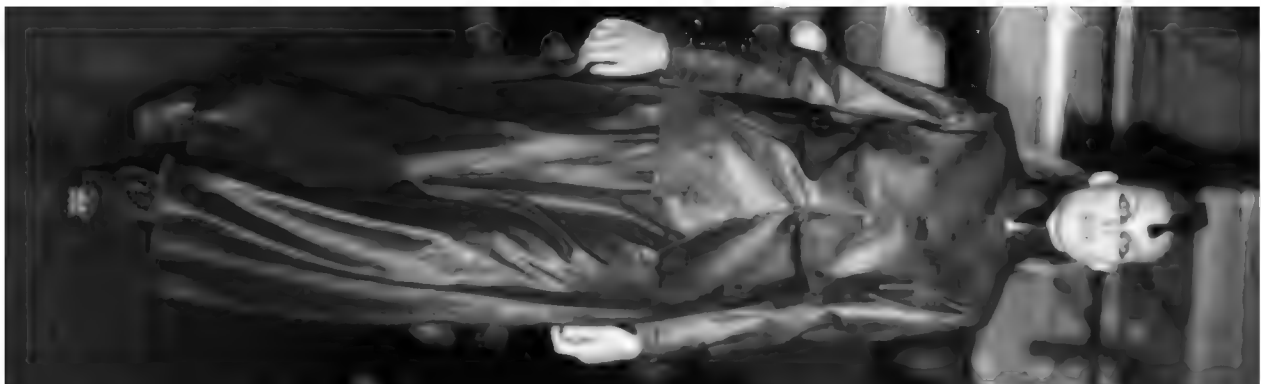
FR　ずいぶん気に入られてたんですね。普通教えないですよね、そこまで。学校でも習わないでしょ、そこまでは。

山下　そうかもしれないですね。これがオレのやり方だというのを持っている方で。風呂敷に出来た服を包んで、自転車で持って行ってっていう、丁稚奉公のころからの話とかをしてくれて。いまはお金がないから大変だけど、オレが力になるから勉強しなってずっと言ってくれて。なんか男手一人でやってきて、お子さんがいらっしゃらないみたいで。僕は熱意でぶつかるしかないという感じでしたので、その部分では買ってくれてたんでしょうね。

FR　そのころ、山下さんはおいくつだったんですか？

山下　大学の4年で辞めちゃってるんで、23才位です。

FR　本当に辞めちゃったんですよね。

山下　ドロップアウトして、でも毎日バラ色なんですよ。彼女にミシンをもらったりとか。それも辛いときにプレゼントしてもらって。それでリフォーム屋から家に帰って、そこでまた縫えるようになって。カン詰とか食べながら（笑）。生地の方にこだわってたので。これはヘリンボンっていう生地だよとか、これはオンワードの余った生地だそうだよっていう話を聞きながら、それじゃあ買いますって。そんなんで生地とかも生地屋さんに教えてもらってたし。すごく人に恵まれてたというのはその時は思いましたね。皆さん、聞けば教えてくれる状態だったんで。聞くのは恥ずかしくなかったんですよ。分かんないことは全部聞こうと思って、どんどんぶつかっていったんですよ。そういう環境のなかで、ある日お店のオーナーが、東京で合同の展示会があるけど参加しないって言ってくれて。そのときは

バキバキの麻袋でPコートとか作ってたころで。その展示会にスーパーラヴァーズさんとかキャタピラっていうインディーズが参加している展示会で、その人たちとも知り合っていったんです。

FR　最初の展示会ですか。

山下　3年目くらいで。それまではずっとそのお店に売ることばかりが中心で。

FR　そのころは自分で縫ってたんですか？

山下　そうですね。分かんないところは、おばちゃんに聞いて。やってくださいよって頼んだり。展示会に出すことになって、ジャケットは自分で縫ってても、プレスとかがだめなんですよ。まずアイロンがなかったし。三橋さんにジャケットはお願いして、パンツとかシャツは自分で縫ってましたね。その初めての展示会のときに初めてコレクションっていう形で一通り作ったんですよ、コートとかシャツとか。袖（そで）が取れてパンツになるジャケットとか作ってたんですよ。股のところにファスナーが付いてて、アームホールのところにファスナーが付いてて。めちゃめちゃ高いものになりましたけどね。展示会のときに地方のバイヤーさんとかにお会いする機会があって。そのときにBEAUTY AND BEAST CLOTHINGっていう名前が付いてたんですよ。それから受注が付くようになって、電話で注文いただいて、その枚数を作るようになって。近くのスーパーでダンボールの空箱をもらってそれに詰めて、みかんとか書いてある箱で。90年頃には大阪でも展示会をやることになって、「あしたの箱」を通してクリエイターが集まって展示会をしましょうっていうことになったんですよ。

91年に雑誌社の人に推薦していただいて、大阪コレクションに参加して、それが初めてやったショーで。それからはコレクションを続けていこうと思って。次のコレクションはシーラカンスっていうタイレストランのオーナーにお願いして、レストランでやらせてもらって。そこは小さなところなので、外まで出てやってたら警察が来ちゃって。オーナーがおまわりさんを抑えてくれて、なんとかうまく終わって。そのオーナーの兄弟の方が、クラブをやっていて、そこでクリスマス前にイベントをやるからこのショーをやってくれないかって言われて。ぜひやらせてもらいますって。そのためにまた服を作り変えて、リミックスっていう形でやったんですけど。そのイベントがフェイスナイトだったんですよ。

FR　ロンドンの雑誌の？

山下　ええ。それがきっかけでアダムと知り合って。彼がうちのアトリエに来るようになって、一緒にTシャツを作ったり、色々実験的なことをやるようになって。92年93年とやっていて。そのころ丸井さんとおつき合いがあって、インディーズブームで下北沢にあったお店に入れてたりして。インディーズブームで売れてたんでしょうけど。若い子たちから、すごく元気になるとかって手紙をもらったりして。

94年にパリでコレクションをやるんですが、93年にワールドファッショントレードフェアっていうのが大阪であったんですね。そのときに浜松の産地の若手の方達が参加されてて、浜松産地の素材を使ってなにかデザインをしてくれないかっていうお話をしていただいて。それで浜松に行ったんですけど。実は日本の産地は若手がどんどん出て行って、空洞化していて、技術を持った人がお年寄りばっかりになって、日本としてはかなりキビシイ状況で。当時は円高で韓国とか香港の生地がすごく入ってきてて。日本の生地屋が生き残るにはヴィンテージ素材を作るしかないっていう話を聞いて。いくら良いものを作っても、それにファッション的イメージが入らないと難しいから、それをなんとかできないかなっていうことを相談されたんですよ。そのときに僕も素材を勉強させていただいて、実際に織機を教えてもらったりとか、シャガードってこうなんだよとか、そして最後にコットンっていうのは綿だから生きてるものだから、今のコットンっていうのはノリ付けしてしまって本来のふわっとした優しさを残してないとか。生地は生き物っていうのを教えてもらって。それで急に視点が変ったんですよ。生地って生地屋さんの棚に置いてあるものだって思ってたから、生き物だって考えたらすごく発想が広がって。バイオテクノロジー的な発想とか、生活していて一緒に呼吸しているとかっていう会話が飛ぶんですよ。だからコットンという素材にこだわっていて、化学繊維っていうのは最初から人工的なものなんですって。天然素材は人間にも近いし人間にもやさしいんだって。自分も感動したんで、それを人に伝える機会ができないかなって思ったんですよ。どうやったら日本で浜松が良い素材を作ってるっていうことになるかなって考えて。そのときは東京でファッションショーをしてくれって言われてたんですよ。でも東京でファッションショーをしても浜松はそうだっていうことにならないような気がしますよって話して。じゃ一番ファッションのメッカに浜松の生地を持って行けばいいじゃないですかっていうことになったんですよ。こんなにすばらしいんだったら、自信を持って行けますよって。イコールパリなんですけど。じゃあそうしましょう、になったんですよ。すごく単純なんですよ。

でリサーチに行かなきゃってパリコレを見に行って。ヴィヴィアンとかコスチュームナショナルとか荒川慎一郎さんのショーを見たりして。これがパリコレなんだって。

FR　パリコレが一番活気のあ

ジャケット：[illegible]のジーンズ
[illegible]：自社のバンビパーカー
[illegible]：Leeのレザーパンツ
シューズ：自社シェルトップ
メガネ：名[illegible]付き乱視のメガネ
ファッション[illegible]：黒いもの
美容室：ビ[illegible]
今ハマって[illegible]
好きな音楽：[illegible]
[illegible]

ったころですよね。マルタンが出てきて、若手が出てきて。ズリー・ベットやジャン・コロナやGR816が出てきたりして。

山下　コスチュームナショナルが中古の靴にペンキを塗ったのを沢山並べて、キャットウオークがないかわりにそれがキャットウオークになっていて。音楽も生のクラリネットだけだったり。なんか不思議な熱気だなって感じて。

FR　その翌年にパリでショーをやったんですね。それは浜松の完全バックアップだったんですか？

山下　それもあったんですけど、僕がパリコレを勘違いしてたのか予算が全然足りなかったんですよ。でも自分等にとって、チャレンジでもあって、良い勉強になりました。旅費とかも出なかったし、ギャランティもなかったし、自分等のためにやったようなもんですよね。

FR　いくら位かかったんですか？

山下　使ったお金は300万円位なんですけど。でもヘアースタッフもみんな手弁当で、旅費も貯めてたお金をはたいて、ついて行きまーすって来てくれて。演出家も会社をなげうって来てしまって。だいぶ迷惑かけてしまって。

－To Be Continued

EVENT

10月30日（木）　Life One Off Project WITH UK NIGHT
DJ：also beauty beast.ARATA
東京　みるく

11月19日（水）　Life One Off Project
DJ：also beauty beast
大阪CLUB KARAMA

11月20日（木）　Life One Off Project
DJ：also beauty beast
京都CLUB METORO

11月未定　Life One Off Project
DJ：also beauty beast.ARATA
東京　みるく

12月24日（水）　Life One Off Project（クリスマススペシャルイベント）
DJ：also beauty beast.ARATA
東京　みるく

SHOP LIST

beauty :beast代官山店　渋谷区猿楽町17-18パインヒル1F　03-3496-0914
PURE+ beauty :beast　大阪市中央区南船場4-11-23宮丸ビル1F　06-253-1784
MADZOO beauty :beast　長野県長野市南千歳町866-2マッズビル　0262-23-1166
beauty :beast京都北山店　京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町98-6　075-723-3678
beauty :beast京都藤井大丸店　京都市下京区寺町 藤井大丸 2F　075-221-8181
beauty :beast高松店　高松市ライオン通り1番街　0878-22-9254
beauty :beast豊橋店　愛知県豊橋市駅前大通3-113-2　0532-54-8910
Feiz　beauty :beast　福島県福島市中央区天神5-6-17 天神ロフト C号　092-715-4632

ジャケット：古着（高円寺で）
シャツ：古着
パンツ：古着
シューズ：コンバース
ファッションのポイント：むかしっぽい感じ
美容室：PLACE IN THE SUN
イマハマってる事：バンド
好きな音楽：スカ、ロックステディ
五島 伸太郎（24才）、美容師

beauty:beast 97/98 AUTUMN WINTER COLLECTION

ワンピース：W<
シューズ：竹下通りで
バッグ：W<
今ハマッている事：ショッピング
好きな音楽：演歌以外
みみ（17才）、高校生

カーディガン：地元で買った
スカート：ヒロミチ ナカノ
シューズ：[illegible]
美容室：GIRL LOVES BOY
好きな音楽：今 スカを勉強中
19才、美容専門学校生

カーディガン：ヴィヴィアン ウェストウッド
パンツ：あいこから借りたネメス
美容室：ソラリス
好きな音楽：ハードコアを勉強
19才、美容専門学校生

ワンピース：マサキ マツシマ（サンプル）
ファッションのポイント：黒で。
美容室：ミンクス
今ハマッている事：パンク
好きな音楽：パンク
19才、販売員

シャツ：マサキ マツシマ
パンツ：ワールド ワイド ラブ
シューズ：コム デ ギャルソン
メガネ：もらいもの
帽子[illegible]もの
ファッションのポイント：帽子
美容室：友達
今ハマッている事：パンク、レコード
好きな音楽：パンク
専門学校生

Tシャツ：トランス コンチネンツ
パンツ：Lee
シューズ：ウォーカー

スカート：スーパー オブジェ
シューズ：カンペール
バッグ：UP STA

ファッションのポイント：ちょうちょのポイント
美容室：ヒステリ
好きな音楽：ソウル、テクノ
JUN（24才）、美容師

美容室：ヒステリ
今ハマッている事：カメラ
好きな音楽：ハウス
谷村 瞳（20才）、美容師

千歳楼
千歳楼
Tシャツ：O.D.O.B
スカート：pretty
シューズ：コージ クガ
アクセサリー：O.D.O.B
ファッションのポイント：女の子らしく
美容室：自分（カラーと前髪）
今ハマッている事：
好きな音楽：UKロ
ブラウス
スカート：pretty
シューズ：コージ クガ
ファッションのポイント：女の子らしく
美容室：自分

ジャケット：みつるくん
シューズ：Dr.マーチン
美容室：ミホのへや
好きな音楽：EXPLOITED

好きな音楽：ホワイト ゾンビ

HERE
THERE

ファッションのポイント：遭難
美容室：遊人
今ハマッている事：さんぽ
好きな音楽：レゲエorコア
コウジ（18才）、専門学校生
--- 大阪から美容室面接で

セーター：コム デ ギャルソン
シャツ：マザーズ
スカート：マザーズ
シューズ：コージ クガ
バッグ：マサキ マツシマ、J.P.ゴルチエ
ファッションのポイント：白と黒をモチーフに、寒いのでたくさん着てる。
美容室：ナイーブ
今ハマッている事：メイクをする
好きな音楽：テクノ
エミチー（19才）、専門学校生
--- 大阪から美容室面接で

シャツ：アルゴンキン
シューズ：ラフォーレの地下で
バッグ：O.D.O.B
ファッションのポイント：O.D.O.Bのたすき
美容室：GIRL LOVES BOY
今ハマッている事：デザイン画
好きな音楽：テクノ
イチゴ星人（18才）、専門学校生

スカート：ビル デ サボン
ファッションのポイント：特になし
美容室：自分でカット
今ハマッている事：レコード買うこと
好きな音楽：パンク
23才、専門学校生

ブラウス：ミルク
シューズ：ゲッタ クリップ
バッグ：友達の手作り
美容室：自分
今ハマッている事：自作
好きな音楽：パンク、ネオモッズ
19才、専門学校生

パンツ：クリストファー ネメス
シューズ：コージ クガ
美容室：自分
今ハマッている事：右目
好きな音楽：何でもアリ
24才、無職

Tシャツ：コム デ ギャルソン
パンツ：古着の軍パン
シューズ：コム デ ギャルソン
バッグ：ポーター
美容室：友達
今ハマッている事：タバコ
好きな音楽：ニルヴァーナ
ゆうま（19才）、専門学校生

Tシャツ：コム デ ギャルソン
パンツ：ブリーチ
シューズ：ロボット
ファッションのポイント：アフロ君リング
美容室：友人
今ハマッている事：ラジコン
好きな音楽：太鼓
ピケ（18才）、専門学校生

カーディガン：古着
スカート：手作り（学校の課題）
ファッションのポイント：古着のニット
美容室：ヘブンス
今ハマッている事：映画を見ること
好きな音楽：特になし
18才、専門学校生

次号予告
11月25日
発売予定

原宿フリースタイル
インタビュー etc.

FRUiTSは月刊です。
毎月23日前後に
発売です。

ファッションに関すること、
人生に関すること、
相談事募集

今これに注目とか、
こんなものが流行ってるとか、
こんなことに凝ってるとか、
これが面白いよとか、
ニュース募集

バックナンバーの問い合わせが
殺到してます。書店にて
取り寄せてもらってください。

ご意見、
ご感想の手紙
募集

（会社の方、デザイナー等の方々へ：
プレスリリース等いただいておりますが、
編集企画が合った場合に
ご連絡させていただきます。
ご了承ください。）

創刊号No.1は
売れ切れです。
No.2（9月号）、No.3（10月号）、
No.4（11月号）はあります。
申込の際、号数を
まちがえないでね。

編集部へのお便り、
プレゼントのお申し込みのとき
住所をまちがえないよう気をつけてね。
（恵比寿西です。）

こんなページを作ってほしい
こんな企画をしてほしい
募集

アンケートは、
自己申告をそのまま掲載し
ていますので、まちがって
いることもあります。

載っている服は、
今販売していないことの方が多いと
思いますので、メーカーに問い合わ
せるときは、ご注意
ください。